ラリグラス・ジャパン News Letter

#10
2024
7月号

大暑を迎え、厳しい暑さが続いておりますが、皆さまにおかれましてはお障りなくお過ごしでしょうか。

4 月発行のニュースレターにてご案内させていただいたとおり、6 月上旬、当会は「講演会の開催」という大きなプロジェクトを実施しました。これまで私どもの活動を支えてくださった皆さまをはじめ、告知活動の中で人身売買問題に関心を寄せていただき、支援の輪に加わってくださった方など、本当に多くの方々のご協力によって無事に講演会を実施することができました。

レスキュー・ファンデーションからお招きした 3 人は、6 月 6 日に帰国の途に就かれました。出国審査を終え、搭乗を待つ間にトリベニさんからお礼のメールが届きました。その一部をご紹介します。

「ラリグラスの皆さまの温かさとすばらしいおもてなしにお礼の言葉が見つかりません。東京でもまんのう町でも夢のような時間を過ごさせてもらいました。女の子たちに新しい人生を与えてくれて本当にありがとう。私たちは心が通じ合っていると感じています。あなたたちは女の子たちの守護神のような存在です」

このメッセージは、今回のプロジェクトに関わってくださったすべての方に宛てられたものです。私どもからも重ねて感謝申し上げます。

今回のニュースレターでは、講演会をはじめ、マイティ・ネパール、NDWS の活動についてご報告させていただきます。

特定非営利活動法人 ラリグラス・ジャパン
〒108-0072 東京都港区白金3-10-21　TEL&FAX 03-3446-2193
E-mail:info@laligurans.org　http://www.laligurans.org

講演会報告

レスキュー・ファンデーション（以下：RF）代表トリベニ・アチャルヤさんと人身売買サバイバーの女性 2 名（ナムラタ・ボリカルさん、シャクシ・マンダレさん）をお招きし、6 月 2 日（日）、共栄学園中学高等学校（東京都葛飾区）の講堂にて、講演会「インドの人身売買の現場から～現地 NGO 代表とサバイバーが語る実情、そして未来」を開催した。会場には 54 名の方にお越しいただき、38 名の方が Zoom 視聴形式でご参加くださった。また、6 月 4 日（火）には、香川県まんのう町の西念寺様にてお話し会を催し、約 50 名の方にご参加いただいた。どちらの会場でも、トリベニさんが人身売買被害者の救出活動を始めたきっかけや活動に込める想いを語ってくれた。ナムラタさんとシャクシさんは、生い立ちから今日に至るまでの過酷な体験と、今後の夢について話してくれた。スピーチの途中で話者が感極まるシーンがあり、聴衆の方々の涙を誘うことになった。

今回の招へい事業の目的は 2 つあった。1 つは、南アジアの人身売買問題を、1 人でも多くの方に知っていただくことだ。そしてもう 1 つの目的は、サバイバーの女性たちをモティベートすることにあったが、いずれもなんとか達成することができたと感じている。

ナムラタさんとシャクシさんは、スピーチの中で次のように話していた。「RF に来る前は、勉強をすることはおろか、飛行機に乗ることなど夢にも思っていませんでした。この体験は、私自身のためだけのものではありません。RF に救われた女の子たち全員に、何かをする勇気、夢を見る勇気を持ってもらうための大きなきっかけになったのです」

EKATRA（エカトラ）は、2021 年 9 月に始まった。そのメンバーが外国に招かれ、多くの人の前でスピーチするのは初めてのことだ。代表して来日したナムラタさんとシャクシさんにとっては、大きな自信を育む機会となり、後輩たちに大きな希望を与える結果となったようである。

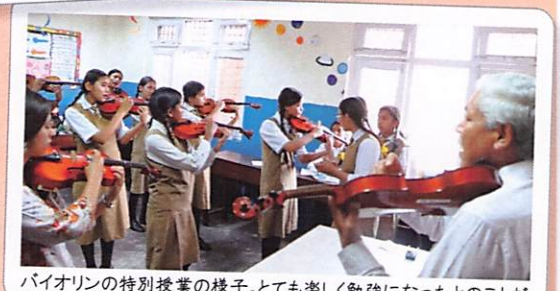
今回の招へい事業は、かかる費用をクラウドファンディングで募る等、ラリグラスにとって大きなチャレンジとなった。不慣れなこともあり、計画どおりに運べなかった点もあった。たとえば、当初、予定していた通訳者が、不測の事態により、急遽、来日できなくなり、代役を立てることになった。代役の方は精一杯務めてくれたが、準備の時間があまりなく、聴衆の方々にはご満足いただけなかったところもあったかと思う。運営側の調整不足によるものであり、この場をお借りし、お詫び申し上げたい。

そうした中でも、無事に講演会を開催することができたのは、ご協力くださったすべての皆さまのおかげに他ならない。クラウドファンディングには、60 名の方にご協力いただき、計 747,700 円が集まった。また、古くから活動協力いただいている会員様から指定寄付として 30 万円をご支援いただき、合計 1,047,700 円を本プロジェクトに充てることができた。この場をお借りし、心からの感謝を捧げたい。

また、エカトラに対し、草の根市民基金「ぐらん」様から助成をいただいたことにも深くお礼を申し上げたい。

マイティ・ネパール

国境を越えようとする乗客に払うべき注意点等をレクチャー



バイオリンの特別授業の様子。とても楽しく勉強になったとのことだ

今年 4 月に創立 32 周年を迎えたマイティ・ネパール。人身売買犯罪の廃絶を目標に精力的な活動を展開し、大きな成果をあげてきた。たとえば、警察とともに行う国境警備では、約 65,000 人の少女や女性を保護し、約 45,000 人の人身売買被害者に対して、基礎教育や職業訓練等のリハビリテーション・サービスを提供した。また、約 20,000 件の性暴力や家庭内暴力に関する被害相談を受け、問題解決に向けて支援を行った。

今やマイティの活動は全国的に知られるところとなったが、それはひとえに年間を通して地道に続けてきた啓発活動によるものだ。とくに気候が安定している 5 月は、さまざまな啓発イベントが計画される。今年 5 月も各地域のマイティの事務所で、人身売買撲滅を目的とした催しが実施された。たとえばマイティ本部では、「人身売買の防止と安全な出稼ぎ」というテーマで、数回にわたって交流・討論プログラムが行われた。このイベントには、テレサ・アカデミーの生徒たちも参加し、活発な意見を交わしたという。ネパール中央南部のバイラワや東部のビラトナガル、西部のカンチャンプル では、オートリキシャをはじめ、バスやタクシーの運転手を対象に、交通警察官を交えたプログラムが行われた。ここではマイティのスタッフが、人身売買を防止する上で、運輸業に携わる労働者が果たす重要な役割についてレクチャーした。

進級後、学業が落ち着く 5 月は学校行事も盛んになる。スポーツの分野では、テレサ・アカデミーの生徒が 3 日間にわたって行われたテコンドーのセミナーを修了し、マイティのテコンドー選手としては初の黒帯を取得した。また、テレサ・アカデミーには、放課後を利用して、バイオリン、フルート、ギター、マーダル、キーボードなど、好きな楽器のレッスンを受けるシステムがある。こうした音楽の分野でも、経験豊かなプロを招き、特別授業を受ける機会が設けられた。

ネパール障がい者女性協会（NDWS）

NDWS では、デイケアセンターを運営し、障がいのある子どもたちの預かりサービスを提供している。日中子どもたちを預かることで、保護者が家事や仕事をできるようにすることが目的の1つであったが、昨今はデイケアセンターに通う子どもたちが大きくなり、成人しても行き場がないためデイケアセンターに通い続けるという状況であった。デイケアセンターの活動内容は、簡単な読み書きの学習、歌やダンスなどであり、NDWS のスタッフたちは成人した利用者には就労につながるようなプログラムを提供したいと考えてきた。

そこで、トンネル栽培の農業を、成人した利用者とその家族に実施してもらうパイロット事業を開始した。トンネル栽培は、畝をビニールなどでトンネル状に覆って作物を栽培する方法である。水や肥料などの資源を 40%削減できること、トンネル内の温度や湿度を調節することで対象作物の栽培期間が長くなること、安定して高品質の作物を育てられることなどのメリットがあり、昨今ネパールで広く取り入れられるようになった。日本でもよく見られる畝をすべて覆った低いタイプのトンネル栽培もあるが、NDWS は背の高いタイプのトンネル栽培を試行中である。

フィンランドの ABILIS 財団から支援を受けて同パイロット事業を実施しており、20 家族が参加している。農業の専門家を雇用し、トンネルの設置、灌漑の整備等を専門家の指示のもとで参加者たちが作業しながら栽培の準備を進めている。トンネルの骨組みは安価で入手しやすい竹を使用し、灌漑用の水は雨水と山の湧き水を使用できるように整備した。土地は、NDWS のスタッフが所有しているところを利用しており、20 家族が共同で農作物を育てていく予定である。収穫した野菜や果物は八百屋や商店に卸したり、直接販売したりする予定で、売り上げは 20 家族に分配するような仕組みを検討中である。すでにトマトの苗を植えており、今後は低いトンネル栽培で付加価値の高いイチゴやレタス等にもチャレンジしていく。

すくすくと成長中のトマト

灌漑用の水のパイプ設置作業

Information

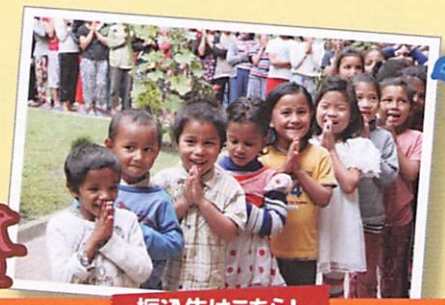
支援の現場を見てみませんか? ～スタディツアーのご案内～

2024 年 8 月 19 日（月）～ 27 日（火）の日程でスタディツアーを実施します。マイティ・ネパールに保護される女性や子どもたちとピクニックに出かけたり、NDWS の子どもたちと遊んだり、インドとの国境で実施する監視業務の様子を見学したりと、盛りだくさんのプログラムを計画しています。皆さまのご参加をお待ちしています!

※詳細はホームページをご覧ください。

子どもたちにお菓子のプレゼント

マイティ・ネパールの女性や子どもたち、NDWS の子どもたちは、貧困家庭の出身者が多く、お菓子を食べる機会が滅多にありません。そこで年 2 回のお楽しみ企画として、27 年にわたってお菓子の詰め合わせプレゼントを続けてまいりました。8 月のスタディツアーでの訪問に向けて、一口 1000 円の寄付をお願いいたします。



振込先はこちら!

郵便振替
口座番号: 00100－5－713661
加入者名: トクヒ）ラリグラス ジャパン
※銀行振込の場合
銀行名:ゆうちょ銀行
支店名:0一九（ゼロイチキュ）店（019）
口座番号:当座 0713661

銀行振込
銀行名:三菱UFJ銀行
支店名:麻布支店（店番:570）
口座番号:普通預金 0158054
振込先名義: トクテイヒエイリカツドウホウジン ラリグラスジャパン

新刊のご案内

代表・長谷川まり子の新刊 2 冊が出版されました。

『わたしは 13 歳　今日、売られる～ネパール・性産業の闇から助けを求める少女たち』（合同出版）
読者層を中学生からとしたノンフィクション。

『少女人身売買と性被害～強制売春させられるネパールとインドの少女たち その痛みと回復の試み』（泉町書房）
『少女売買～インドに売られたネパールの少女たち』（光文社　知恵の森文庫）の続編。チャンヌーやアプサラ、アーシャのその後や、今回の講演会にお招きした 2 人のサバイバーの物語が綴られています（プライバシー保護のため、ナムラタさんはラダ、シャクシさんはプリヤという名で記されています）。

※当会を通じてご注文いただくと、定価の 2 割が寄付金となります。

寄付金控除に関するお知らせ

当会は 2014 年に「認定 NPO 法人」に認定され、2019 年に更新、皆さまからのご寄付は寄付金控除の対象となり、税法上の優遇措置が受けられました。認定の有効期間は、所轄庁による認定の日から起算して 5 年となっており、その満了後、引き続き認定 NPO 法人として活動を行おうとする団体は、更新手続きを行うことになります。当会は今年がこの 2 回目の手続きを行う時期だったのですが、残念ながら、更新の条件をクリアすることができず、7 月 27 日をもって認定 NPO 法人ではなくなりました。つきましては、28 日以降のご寄付は、寄付金控除の対象となりません。ご期待に沿えず誠に申し訳ございません。

現在、改めて「認定 NPO 法人」として認定していただくための手続きを進めております。再度、認定されましたら速やかにお知らせいたします。何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。